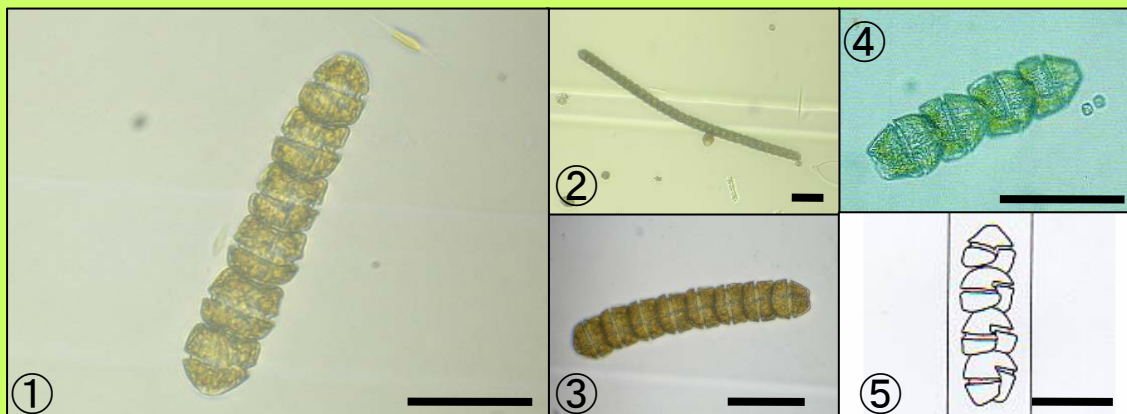


6 ギムノディニウム カテナータム *Gymnodinium catenatum*



※ ① 6連鎖 ② 32連鎖 ③ 8連鎖 ④ 4連鎖 ⑤ 模式図 — : 50 μm

特記事項

食用の貝類が毒化（麻痺性貝毒）する原因プランクトン。ml当たり数細胞レベルの低密度な状態で二枚貝類を毒化させる。毒化した貝を人間が食べると、手足のしびれ、めまいがおこり、まれに死に至ることがある。

特徴

- 【 毒性 】 麻痺性貝毒
- 【 大きさ 】 細胞長 : 50-130 μm 、細胞幅 : 30-50 μm
- 【細胞の色】 褐色～茶褐色
- 【 連鎖 】 単細胞～32連鎖群体を形成
- 【運動状態】 回転しながら前進する。
- 【増殖時期】 11月～4月
- 【発生海域】 有明海、八代海、天草海
- 【生活様式】 冬季から春季に増殖する。
- 【 類似種 】



コクロディニウム ポリクリコイデス ギムノディニウム インプディカム